



【視察報告】EM 最新技術での栽培に驚嘆！

戸田市の EM 愛好者が茨城県北浦みつば連合出荷組合を研修視察

7 月下旬、埼玉県戸田市の戸田 EM ピープルネットを中心とした戸田市の EM 愛好者 28 人がバス研修視察を行った。視察先は、茨城県行方市の茨城県北浦みつば連合出荷組合（男庭源善組合長）。この組合を選択したのは、最新の EM 技術である塩活性液や整流技術を用いた農法で著しい成果を上げているからだ。

研修視察日の朝、戸田市を出発する際には豪雨で足元がびしょ濡れになり、この先思いやられるかなと心配したが、研修が始まる午後には雨もすっかり上がっての曇り空、前日までの猛暑がウソのような過ごしやすさ。

視察研修の内容は 2 部に分かれ、1 部は組合事務所での当組合開発推進委員長の前田恵助氏による EM 最新技術の講義、2 部はその技術に熱心に取り組み成果を上げている当組合開発推進副委員長石川幸一氏のハウスでの実地研修。

1 部の前田氏による講義では、最初に当組合の EM との出会いで比嘉照夫教授の直々の指導で全国有数の出荷量を誇る農業任意組合になったことを話された。皆が興味津々なのは、当組合の登録ブランドである「EM そだち」の野菜栽培の話した。安心安全で美味いと評判の野菜作りには 3 点セット①塩にがり EM 活性液、② EM 3 S（EM 3 号 + 納豆菌）、③アミノ酸強化肥料を使用することだ。これで、旨みと香りが 20% ほど増し、シャリ感や糖度も上がる。葉の色も緑が増し、花は一段と鮮やかさが増すのだと言う。戸田市の皆さんが行っている EM 生ごみ堆肥を使った花づくりにも大いに役立つとのアドバイスも頂いた。その後、EM 整流技術の具体的な説明と質疑応答が数件あり、興味から来る熱気が冷めぬうちに一部が終了した。



EM 整流技術が導入されたハウス前で戸田市の EM 愛好者と談笑する石川幸一氏（左端）と前田恵助氏（左から 2 人目）

2 部は前田氏の説明を実地で研修しようと、チンゲン菜を年 6 回も収穫するという石川氏が運営するハウスの EM 整流技術を見学した。電柱からの潜在電圧の取り入れ方や地中に埋めた整流炭・塩・塩活性液からロープを伝わる電子を制御する EM 整流シールなどを視察した。整流技術の実態を目にし、実地確認した戸田 EM の皆さんは、これで好評な「EM そだち」ができるのか、と驚嘆の声を上げていた。視察後バスの車中で、戸田 EM で熱心に活性液作りをする某役員は「最新の EM 技術のうち、PH 値が 3.0~3.3 と低く安定して傷むことのない塩にがり活性液作りを優先して、次の段階として整流技術かな」と話していた。

【Information】善循環の輪の集い開催のお知らせ

鹿児島県の集い in 南九州

日時
会場

10 月 7 日（土） 12:30-17:00
南九州市知覧町「コミュニティセンター知覧文化会館」

「さぬき」の集い（香川）

日時
会場

10 月 14 日（土） 9:30-16:30
高松市下田井町「JA 高松南部会館」

北海道の集い in さっぽろ

日時
会場

10 月 28 日（土） 12:30-17:45
札幌市厚別区「新さっぽろアークシティホテル」